第21回伯耆町人権・同和問題実践研究交流会

法務省人権啓発活動地方委託事業

伯耆町人権フォーラム2026

入場無料

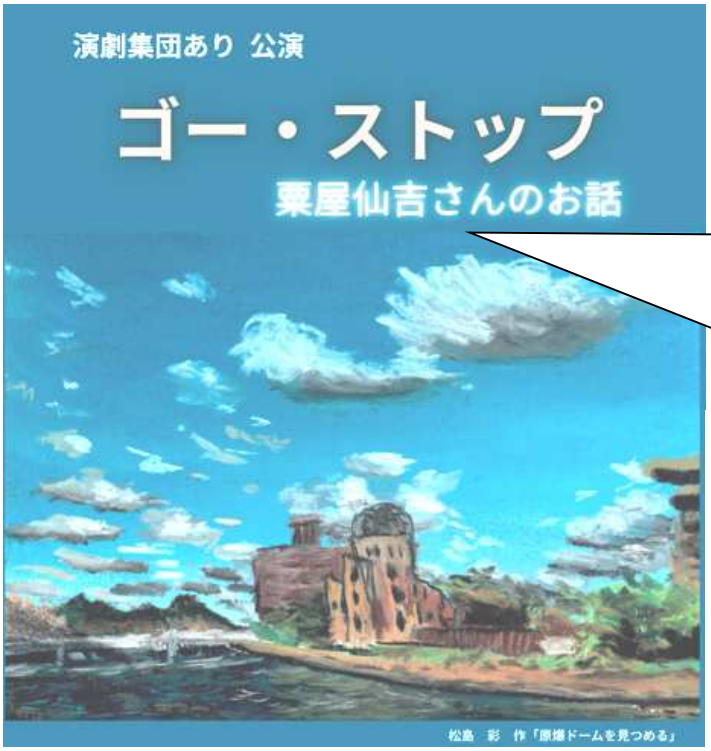
【日時】令和8年12月6日(日) 9:30～12:00 (9:00 受付開始)

【会場】 鬼の館 (伯耆町宇代 TEL63－0987) ※天候等により中止の場合あり

9:30～ 開会行事・人権標語表彰

10:00～ 中学生による人権作文発表

10:30～11:50 劇団あり(代表:添谷泰一氏)公演



米子中学(現米子東高)卒の粟屋仙吉(あわやせんきち)さんとその家族の人生を通して、社会、戦争、家族、未来について考えてみましょう。



粟屋仙吉さん

■事前申し込みは原則不要ですが、参加人数の把握や受付簡略のため、事前申し込みをしていただけるとありがたいです。電話／ファックス／メール(下の QR コードを利用して申し込みできます)／郵送等により下記へお知らせください。

シャトルバスあり

シャトルバスや手話通訳・車いす席を希望の方は、必ずご連絡ください。【締切:11 月 27日(金)】

■シャトルバス(無料)の出発・到着時刻

往路: 8:30 本庁舎→ 8:45 分庁舎→ 9:00 鬼の館

復路:12:35 本庁舎←12:25 分庁舎←12:15 鬼の館

〒689-4201 伯耆町溝口647 教育委員会人権政策室

電 話:0859-62-0713 FAX:0859-62-7172

Eメール:jinken-seisakusitu@houki-town.jp

URL: https://forms.gle/Efpb7dsSf24BswG56

参加申込およびシャトルバス・手話通訳・車いす席 希望表

お 名 前	ご連絡先(住所又は勤務先、電話)	希望内容(必要なものに○印を記入)
	住所又は勤務先 電話:	バ ス (乗降場所: 本庁舎 ・ 分庁舎) 手話通訳 車いす席

劇団あり公演「ゴー・ストップ」チラシより





稽古初日2026，4

あらすじ

粟屋仙吉さんをご存じでしょうか？ 明治２６年生まれ。幼少期から青年まで鳥取県米子で過ごし、米子中学（現鳥取県立米子東高等学校）一高、帝大とエリートコースを進みます。米子中学時代は文武両道。野球部で、柔道五段。カトリック教会で洗礼を受け、筋の通らぬことは許さない。内務省に入省。大阪府警察部長時代、昭和８年、「ゴー・ストップ事件」が起こります。軍人が信号無視で通行しようとすると、巡査が止めます。喧嘩になり双方が怪我をします。どちらが悪いかで、陸軍と警察が大喧嘩になりました。当時の陸軍は強大な権力を持っておりました。警察部長だった粟屋仙吉さんが検察側の最前線に立たされます。悪いことは悪いんだと一歩も引きませんでした。



鳥取県立米子東高等学校



事件の舞台になった場所

その後....

結果、粟屋仙吉さんは、軍部に異議申し立てをした最後の人になりました。その後、軍部は戦争への道をひた走っていきます。そして歴史的な悲劇を迎えます。いくつかの場面でストップする機会があったはずなのです。現在、各地で戦争が起り、罪のない人々、子供たちが無残に殺されています。戦争は人類最大の人権侵害です。ひとたび戦争が始まれば終わりません。愛する家族を殺された人々の憎しみ、痛みは続くからです。だから戦争はしてはならない！
地域に埋もれた題材を掘り起こし、デジタル時代に演劇という生の舞台で、物語をお客様と共有し、粟屋さん一家の人生を通して、社会、戦争、家族、未来について一緒に考えていけたら幸いです。

演劇集団ありプロフィール

1970年、宮倉義文他が旗揚げ。1991年宮倉義文作「星の世界の星祭り」国民文化祭（千葉県）創作部門で参加。1992年、米子市文化奨励賞受賞。2010年、劇団創立40周年100回公演。添谷泰一作「わが町、米子」。2012年、添谷泰一作、大山口列車空襲を描いた「昭和二十年、夏」県内各地で上演。2014年 添谷泰一作、トランスジェンダーをテーマにした「パパがママになる日」。各地で公演。2022年、改めて50周年記念公演。その後も、「パパがママになる日」を各地で公演。2023年、2024年、各団体からのリクエストで「昭和二十年、夏。」を鳥取県中心に１０公演上演。2025年、米子出身の作詞家「岡本おさみさん」の評伝劇、「旅に唄あり」添谷泰一作、演出で上演。2025年、因伯短編演劇祭「おさななじみ」上演。ラジオドラマ制作。2026年「ゴー・ストップ」上演。



広島被爆市長公舎跡

主催者募集

- 上演期間　２０２６年　７月～１２月　（劇団は土、日の週末希望）
- 上演時間　９０分
- 公演場所　公民館の集会室、学校の体育館、ホール、その他。
- 連絡先 ０９０-４８９６-９１３２（添谷）